

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	19 - 学長 - 1
-----------------	-------------

平成 19 年度配分 研究成果の概要

研究名	「持続的な社会を支えるサステナブルデザインの基礎的研究」				
配分を受けた特別研究費	学長 特別研究費 1,640千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名 (研究科名)	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	空間造形学科	教授	宮川 潤次	共同研究まとめ 研究会運営 地域資源資料収集 等
共同研究者	デザイン学部	同生産造形学科	教授	伊坂 正人	理論的研究まとめ等
	デザイン学部	同生産造形学科	助教授	佐井 国夫	公開勉強会まとめ等
	デザイン学部	同生産造形学科	教授	坂本 鐵司	教育・研究方針検討 等
	デザイン学部	同メディア造形学科	講師	羽田 隆志	地域資源資料収集 等
	デザイン学部	同空間造形学科	教授	古瀬 敏	理論的研究まとめ等
	デザイン学部	同空間造形学科	教授	鳥居 厚夫	教育・研究方針検討 等
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 9 号 ( H21 年 3 月 発行 )	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他 発表の方法:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

平成 18 年度からの継続として、持続可能な社会を「ものづくり」と「環境づくり」の面から支えるサステイナブルデザインの基礎的な調査研究を行うとともに、市民活動グループや企業と連携した啓発・実践的活動の展開を図る。

18 年度は、学内に「サステイナブルデザイン研究会(以下 SD 研究会)」を発足し、サステイナブルデザインの考え方及びその実践手法などの調査分析を行うとともに、本学デザイン教育・研究の軸としての展開の可能性、重点的研究テーマの抽出等の基礎的な研究を行った。また、調査研究の一環として「SD 公開研究会」を開催した。公開研究会の記録は研究会 HP で公開されている。

19 年度研究では、SD 研究会での研究を主に、サステイナブルデザインの考え方の明示、更新が予定される本学カリキュラムにおけるサステイナブルデザイン教育の位置づけと科目内容の検討、持続可能な地域社会づくりのための地域資源情報の収集を行う。また、学内外の研究者、企業、市民活動グループ等と連携して持続可能な地域づくりのための啓発と実践的活動の展開を図る。

(研究の実施方法等)

1)「SD 研究会」の活動 (継続活動)

①定例会(ワークショップ)

研究会を毎月 1 回開催し、共同研究及び関連の個別研究の情報交換等を行った。

②モデル的実践活動

地元のエコ・ワークショップなどの実践的活動を進めた。

③事例視察・ヒアリング等

関連の先駆的な事例視察、関係者へのヒアリングにより関連情報を集めた。

2)「SD 公開研究会」の開催 (継続活動)

「電気自動車」、「自転車のまちづくり」をテーマとした公開研究会を行った。

3)「サステイナブルデザインマップ」の作成

サステイナブルデザインの考え方や領域、関連テーマの位置づけ等をより明らかにするとともに、これらを視覚的に示す相関図を作成した。

4)持続可能な地域づくりのための地域資源データの収集 / 研究資料、教材としての活用  
浜名湖地域を対象に、関連資料を収集し、ホームページで公開した。(公開中)

(得られた成果等)

・収容テーマとして「地域公共交通ネットワーク」を抽出し、浜松市交通政策課、遠州鉄道、NPO 法人日本都市計画課協会等と共同研究を進めるための準備会を発足した。これにより、地域での実践的研究活動の基礎がつけられた。

・サステイナブルデザインの考え方や領域等を明確にし、研究者個々の研究活動の目標設定や位置づけが容易になり、共同研究が進めやすくなった

・浜名湖地域について、地域環境をテーマとした研究、環境教育等の資料となる地域資源情報が集積された。